

市東さん先頭に地裁デモ、署名6395筆提出

請求異議
裁判闘争

強制執行阻止へ熱気

5月25日、請求異議裁判の第2回闘争で地裁包囲デモを闘った。右は署名提出



NAAの答弁を打ち砕き本格審理へ前進

5月25日、反対同盟と支援は、市東孝雄さんの農地の強制執行を阻む請求異議裁判闘争を闘いました。午前9時30分、千葉市中央公園から裁判所に向けてデモ行進。午前10時、「強制執行反対署名」6395筆の提出行動を行い、NAAによる農地強奪の暴挙に、多くの人々が怒っている現実を、高瀬順久（よしひさ）裁判長につきつけました。

10時30分からの弁論では、市東さん、弁護団、傍聴団が一体となって結審阻止へ力を合わせました。「今後、二度と強制的手段を取らない」としたNAAの約束違反の追及など、答弁書への反論が法廷を圧倒しました。全体で拙速審理をさせない展望を開いたのです。次回は8月10日です。この日の署名提出にむけて協力をお願いします。

次回8月10日へさらに強制執行反対署名を

7.
9

現地闘争と天神峰 榎の木まつり

- 7月9日（日）正午
- 成田市天神峰南台市東さんの畑に集合、集会、デモ
- デモ後市東さん宅離れで「榎の木まつり＝交流会」

6・26耕作権裁判

- 6月26日（月）午前9時 千葉市中央公園＝デモ
- 午前10時30分 弁論開始 601号法廷

住民を愚弄するNAA「見直し案」

第3滑走路建設、50万回化 深夜20時間飛行すべて強行

6月12日、「成田空港に関する4者協議会」が富里市のラディソンホテルで開かれ、NAAが「空港機能強化の見直し案」を示しました。しかしその内容は、地元首长たちの「称赞」とは裏腹に、従来案と何も変わらぬ、住民の怒りを逆なでするものでした。（3ページ「Q&A」参照）

あたかも住民の声に配慮したか



成田空港に関する4者協議会（6月12日）

のように宣伝していますが、騒音地獄を拡大し、600戸を強制移転させる第3滑走路計画はそのま

何も変わらず どころが「見直し」か



4者協議会への弾劾行動（6月12日）

ま。50万回化というべらぼうな飛行回数も変えず。「4時間しか眠らせない20時間飛行案」も変更はなしです。「説明会であれだけ住民の反対があったのに出てきた案がこれかよ」「住民をごまかす言葉を並べている分もっと悪い」との声が上がっています。

反対同盟は12日当日、ホテル前で弾劾行動を行いました。

成田市西大須賀地区で落下物 屋根を破損「雷が落ちたかと思った」

屋根ガワラが壊された住宅



6月6日午後7時ころ、B滑走路の飛行直下である成田市西大須賀地区で、氷と見られる航空機からの落下物があり、民家の屋根ガワラが壊されました。住民は「雷のような大きな音で何が起きたのかと思った」「一晩中眠れなかった」と恐怖を語りました。空港南北では落下物が頻発しています。NAAの責任は重大です。

Q&A

NAA提案のペテンとは？

①深夜延長は1時間に短縮？

とんでもない。Cランができれば原案の3時間延長に逆戻り

「見直し案」では、Aランでの飛行延長を先行させ、「1時間にとどめる」と宣伝しています。しかしそれもCランができるまでの話。Cランができれば「睡眠時間は実質4時間」は変わりません。ここにNAAの卑劣なゴマカシがあります。

②「スライド方式」で静穏時間が6時間確保される？

机上の空論です。「睡眠時間が4時間」は変わりません

「スライド方式」とは、3本の滑走路を①Aラン+Bラン、②Aラン+Cランの二つのグループに分け、遅番（朝6時30分～夜中0時30分）、早番（朝5時～夜11時）の輪番にする。すると飛ばない時間を6時間確保できるというのですが、机上の空論です。まず、いわゆる「谷間地域」は除外されます。これだけでこの案は失格です。さらにBランとCランの間隔はわずか420秒。騒音という点では1本の滑走路と同じ

NAA夏目誠社長



です。だから、遅番も早番も関係なく朝の5時から夜中の0時30分+カーフェーの分30分=深夜1時まで

飛び続けます。Aランの飛行直下地域は一見「6時間が確保される」かに見えます。しかし住んでみればわかりますが、B、Cランの騒音が実際にはAラン地域にも襲いかかります。就寝時間であればなおさらです。結局「6時間の静穏時間」なる耳ざわりのいい言葉はインチキなのです。

③新たな環境対策をとると聞きましたか？

NAAは約束違反の常習犯信用できません

成田が開港してからの40年はNAAの約束違反の歴史。住民の怒りに押され、環境対策を口にはしていますが信用できません。今回の「見直し案」の考え方は「住民は飛行機の運航時間に沿って眠れ」というもの。空港が主人公で住民は従うだけという態度は変わっていません。説明会に押しかけ「機能強化案の全面撤回」をかちとりましょう。

安倍政権

共謀罪の強行採決許すな！

加計疑獄事件に追いつめられ暴挙



6月15日、国会前をうめた人々

6月15日、安倍政権は世論の反対を踏み破って現代の治安維持法=共謀罪の強行採決を行いました。加計疑獄の暴露に追いつめられ、委員会報告も省略しての暴挙でした。しかし、これは安倍政権の「終わりの始まり」です。朝鮮半島での戦争策動を許さず、安倍政権打倒まで闘いましょう。

地域住民の声

成田～芝山～多古～ 横芝光

今回は芝山町、多古町の住民から意見を聞きました。6月12日に発表された「空港機能強化の見直し案」についての怒り、共謀罪を強行した安倍政権への弾劾の声をいただきました。

◆「見直し案」は住民の声に全然応えてない

芝山町 自営業（男性）

6月12日に発表された「見直し案」を読んで驚いた。この間の説明会などで噴出した、「空港機能強化案」に対する住民の声にまったく答えていない。言葉では、あたかも住民の声に配慮したかのように言っているけど、よく読んでみれば、基本的に何も「見直して」いないじゃないか。

50万回飛行は最初の案どおり。多古や横芝光町の住民が一番反対している第3

滑走路については再検討の跡すらなく元の案通り。

一番力を入れているように見える深夜・早朝便の延長にしたって、最初は「1時間に縮めます」と言うが、「C滑走路ができれば2時間半に伸ばします」という話。冗談じゃないよ、という気持ちだよ。「スライド方式」とか何とか言っているけど、俺たち「谷間地域」の人間の声はまったく聞かず蚊帳の外。絶対許せないよ。

◆「共謀罪強行」はとんでもない暴挙だ

多古町 自営業（男性）

安倍政権によって共謀罪の採決が強行された。治安維持法のようなひどい法律だと思う。民主主義の危機だよ。「犯行」が実行されていない「計画」の段階で処罰するというんだから今までの感覚では考えられない。こういう法律はいったん成立すると運用でどんどん拡大していくのが目に見えている。「日の丸・君が代法」だって、国会の論議では「強制ではない」などと言っているが、実際に法律になれば、強制されている。あきらめずに声をあげていきたい。

5

第3回天神峰カフェが盛況

21

初参加者つぎつぎ 次回は6月25日

企画者の木内敦子さんと語り合う参加者



3回目の天神峰カフェが5月21日、市東孝雄さん宅で行われ、26人が集まる大盛況でした。今回新たに設けた「農作業体験コース」に参加した一人は、「檻樓の旗」上映会に参加した男性。第3滑走路現地調査にも初めて参加の人が足を運び、横芝光町中台区の「断固反対」の看板を見て、感激していました。次回は6月25日。参加して下さい。